



## 評価は後々の人々が決めるもの

私とアートのつながりは、1991年にさかのぼる。クリストの「アンブレラプロジェクト」だ。青色のカサが千数百本、茨城県のあちこちに点在し、見知らぬ田舎の農家の軒先や田んぼの中にまぶしいばかりに輝いていた。そこでこの企画で日本では、ブルー、アメリカでは、黄色の生地を使用していた。その切れ端を何枚か持ち帰った。ニイガタノタカラアツマレに応募すればよかったと後悔している。

それは、今までの自分なりのイメージ、絵画・彫刻を美術館で見る静かな芸術の概念はもろくも崩れ去った。しかし、それは、その向こうに見える新しい芽吹きを感じたものである。

それから約20年の歳月が過ぎ二〇〇九年に「水と土の芸術祭」が私の生まれ育った新潟で開催されることを知り即座にそれに飛び込んだのだ。多くの人たちが考えるように、ほとんど世界的に目立たないこの新潟にたくさんランドアートが設置された様は、既成の考えを一変させた。意味のないように見える作品とその置かれた場所を見れば、すべてといていい数が意味を持つかに思える。

「この芸術祭でどの作品が良かったですか。」と質問されるが答えに窮するのは私だけだろうか。まるで、自分たちの子供の中で一番かわいいのはどの子ですか

と聞かれているようなものだ。どの作品にも愛着がありその質問に答えることができないのだ。

たぶん、つぎの芸術祭があることを願いつつ、それまで何をしようかと考えたとき、ひとつのテーマが見えてきた。

それは私が「何ものなのだ。」ということである。今年の初めひよんなことからわが家のルーツが少し明らかになった。何年前のアメリカのテレビ映画「ルーツ」ではないがきつとあちこちに行つて情報を集めていこうだろうか。この「水と土の芸術祭」を期に同じことを思っている人は少なくはないだろう。ただ見知らぬ場所に入つて話を聞くとというのは、多くの労力を要するに違いない。この芸術祭でサポーターが経験したような地域に入つて受け入れてもらったときのように。自分の「ルーツを探す」という理念があればこそできるのではないだろうか。

市内の各所に置かれたランドアートは、今あるからたぶん「現代アート」と呼ばれているのだろう。きつと印象派もそのときは現代アートだったに違いない。

評価はアートも、われわれサポーターの活動もきつとのちのちの人々、われわれの子孫が下すだろう。そのときを思い浮かべ行動していこうと思う。

(市民サポーター 風間武)

## 恒久作品リスト

作品番号	作品名	作家名	設置場所
17	THE HEART OF TREES	ジャウマ・ブレンサ	信濃川やすらぎ堤(中央区)
24	心園の渡り	管懐賓(グァン・ファイビン)	関分記念公園(中央区)
30	海拔ゼロ	土屋公雄 A P T 田原唯之+木村恒介	上堰潟公園(西蒲区)
31	ヒエログリフ	浅葉克己	角田浜(西蒲区)
33	"Fifteen Degrees South" [Tear's of my Father] <small>※一部変更されていますが、同じ場所にあります</small>	クイビーン・オフラハラ	福井(西蒲区)
36	栗ノ木排水機場は 近代農業土木の原点となった。	磯辺行久	旧栗ノ木排水機場(東区)
37	亀田本町通り周辺における 土と植物による修景プロジェクト	村木薫	亀田本町商店街(江南区)
60	おひるねハウス	南川祐輝	西海岸公園(中央区)
66	Untitled 09-01	前田哲明	秋葉公園(秋葉区)
68	水の声-Water Whisper	高田洋一	新津美術館前庭(秋葉区)
82	御魂迎え-鯛車	野口基幸(鯛車復活プロジェクト)	新潟ふるさと村(西区) 巻文化会館(西蒲区)

おひるねハウス  
がお引越しい!



北区太夫浜から西海岸公園に移設されました。西海岸公園と言ってもとっても広いのですね、いわゆるシモから関屋の方までに同公園の名が点在しています。さて移設場所は山の下方からみなとトンネルを通して、出た先の1つ目信号からジャスト400m左です。砂地の駐車スペースがあります。そこから階段を登って・・・ありました!黒々とお化粧直しをしてもらったようです。ちょうど舟栄中学校の裏手にあたりますが、こちら側の駐車は難しそうです。近くの窪田町には「しょっぺ店」番付け、西の横綱「せきとり」があります。夏には夕陽を見た後に鳥半身唐揚げをつまみにビールを飲みたいなあ。(サポーター たざわ・たかし)

## 芸術祭の記録集ができました!

作品集に載せられなかった秋以降のアートやイベント、パフォーマンス、芸能のほか、80人余のインタビューや歩み、資料などが満載です。ジュンク堂、紀伊国屋、萬松堂、文信堂、北書店、市役所交流推進室で発売中です。サポーターズでも販売し、売上の一部は活動資金になります。A4・64ページで500円。なお、作品集1500円も発売中です。

※問い合わせ  
新潟市観光政策課交流推進室  
電話025-226-2623



## 市民サポーター募集中!!

水と土の芸術祭の市民サポーターの登録をお願いいたします。

再登録

今まで会員だった方も再登録をお願いします。

新規登録

新規会員も大募集!!

以下の内容を市民サポーターズ会議までお送り下さい。

- ①お名前(ふりがな)
- ②郵便番号・ご住所
- ③TEL
- ④メールアドレス
- ⑤携帯メールアドレス

## 水と土の芸術祭 市民サポーターズ会議

mail mizucch@gmail.com

郵送 〒951-8507

新潟市中央区西堀前通6番町894番地1  
西堀6番館ビル3F 新潟市市民活動支援センター

※準備段階につき、現在電話番号がありません。  
お手数申し訳ありませんがメールか郵送にて、ご連絡をお願いいたします。